



●葉山まちづくり館ギャラリー

8月1日(金)~31日(日)10時~17時30分
(休館日は図書館の休日に準ずる:最終日は午前中のみ) 図書館2階「葉山の神輿」夏祭りの季節に合わせ、葉山町内各地区の自慢のお神輿の写真を展示します。☎876-0421 N P O 法人 葉山まちづくり協会

●モヒカーノ関 ホールでアミーゴJAZZ

8月3日(日) 14時開演 福祉文化会館 2,000円・中高生1,000円、モヒカーノ関 ラテンジャズバンド杉本篤彦ソウルコーヒー他 ☎875-6356葉山deジャズ実行委員会

●定例ボランティア活動

8月9日(土) 9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」 どなたでもどうぞ ☎875-6734大熊(葉山町ボランティア連絡協議会)

●戦争体験を聞く会「宗教と平和」

8月17日(日) 14時~16時 逗子市市民センター 宗教者が語る戦争。思想信条を超えた平和への願いを聞く。日本山妙

法寺滝本妙静さん。無料 ☎875-7126 阿部(くらし・平和・民主主義を守る逗子葉山懇談会)

●夏休み親子映画祭

8月23日(土)10時~11時30分 福祉文化会館 無料 アンパンマンまじょのくにへ、ヤンボウ・ニンボウ・トンボウの消防隊、あしたぶたの日はた時間 ☎875-0481 長島(映写ボランティア五葉の会)

●ガイアシンフォニー第四番上映会

8月24日(日)11時・15時・19時 逗子文化プラザ 前売1,000円・当日1,500円・高校生以下無料(要予約)、有料保育(15時のみ・要予約)、☎080-6733-7988小山内(T&T)

●逗子ふれあいフリーマーケット

8月29日(金) 9時30分~15時30分 雨天中止時は9月2日(火)に順延 亀岡八幡宮境内 出展者募集中 ☎871-5280片岡(実行委員会)

●日韓若手音楽家交流コンサート

8月31日(日)13時30分 福祉文化会館スイス・韓国両大使館、国際交流基金等後援の下、日韓文化交流促進のイベント。3,500円。葉山ベースの国際親善のため来場歓迎。☎876-0712岩神六平事務所(NOSTA AG)

●逗子市子育て講演会

9月1日(月)14時30分~16時 逗子文化

プラザ市民交流センター ~精神科医から見た思春期の子どもたち~ 講師:藤原修一郎(精神科医)。幼児保育有 ☎872-2898逗子市教育研究所

●知的障害児者ガイドヘルパー講座

9月2日(火)~5日(金)・27日(土)鎌倉市福祉センター 13,000円(テキスト代・実習費込み) 詳しくはお問い合わせください。☎870-5280 FAX873-5370古橋・根津(支援センター風)

●第15回ひろの童謡まつり

8月20日(水)必着 童謡「作詞・作曲コンクール」作品を全国から募集。資格不問。テーマ自由。このコンクールのための未発表のオリジナル2作品まで。☎0240-27-2114童謡のまちづくり実行委員会事務局(広野町役場内)

●葉山将棋入門サロン 会員募集

毎月第2・4日(日)14時~16時 葉桜住宅内自宅(オ戸坂上バス停徒歩3分) 無料体験可。会費3か月3,000円・高校生以下半額。☎875-8478新倉(日本将棋連盟公認普及指導員)

●ボランティアさん大募集!!

麻雀、トランプ、折り紙、囲碁将棋、話し相手等の相手ができる人、合唱、楽器演奏、踊り等慰問に来てくれる人、夜勤アルバイトを募集。☎879-2270葉山クリニックデイサービス「元気」・ショートステイ安楽楽

短歌

葉山歌壇俳壇

岡田 保子 選

◎知覧茶を飲みつつ心によぎるもの「特攻花」咲く島のあるとふ
◎評 戦争の渦中にあつた人も高齢となり、六十余年経た今も八月は思いが深い。知覧のお茶をいたただけ見たことはない架空の花や島かもしれない悲劇の言い伝えを心にうべなう作者の思いが伝わります。
年々に終戦の日の記憶香くなり歳々同じ夾竹桃の花
広報に載りし吾が短歌さまざまな思ひを秘めて百首となりぬ
憧れの湿原を行く 木道に佇てば遠くにカッコウの声
あぢさゐの花のかんざしうす紅を母に供へむやさしき雨ふる
三日前支柱添へたる山芋の蔓はジャックと豆の木のごと伸ぶ
田の畔は整えられて軽鳴はバリヤフリーよろしく登りおりする
時ならぬ風案じて丹念に進路メモする義母いま白寿
新緑の庭を眺めて大工らは鉈の屑に坐り飯食ふ

◎追分のこぶし涼しき川下り 熊谷 晃門
◎評 だれにでも分かりやすく一点集中したところがよい。中七音の表現がポイントといかにも涼しさを誘う作品である。追分には、越後追分・松前追分・江差追分などがある。
サンガラス外すATMの前 村上 権次
◎評 私は長い間選者をやっているが、横文字の入っている作品は初めてである。また季語とATMのとり合わせが的確であり面白い。
春蟬に押されて登る峽の磴 堀江規弥子
ひた走る外房線や梅雨曇 石川 光子
平凡を好みし日々や合歡の花 熊本 京子
枇杷熟る干し物多き子沢山 高梨 久子
雷鳴りて決壊恐るせきとめ湖 多羅 空竹

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎ひよいひよいと椋鳥の出で走り梅雨
◎評 「ひよいひよい」といわれると、椋鳥の動きが軽快にとらえられていると思います。季語が走り梅雨であることが、句を重くしない配慮があります。読んでいて楽しい点がよいといえます。
涼しさを切りし小枝を束にして 村上 権次

◎評 庭の木の枝払いをしてさっぱりしたのである。上五に「涼しさを」と据えた点が手柄といえましょう。中七以下は臨場感とリズムからいえば、切りたる小枝とすれば、助詞の「を」が省略されてリズムもよくなるかと思えます。
竹林にかくれし御堂夏の夕 米倉 久恵
ほととぎすふた声啼いて闇に消ゆ 確井美津子
秋立つや島に一つの車井戸 近藤 紘
明神も明星岳も梅雨に入る 安藤とみ子
是清も眺めし海や冬茜 園田 義朗

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑誌)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで